

<目次>

● 4月は不安がいっぱい～学校の新年度始まる～

■ 図書館の指定管理者を導入する条例に賛成の候補はゼロ

▲ お知らせコーナー

☆ 4/9(日)神奈川県知事選挙・川崎市議、神奈川県議会議員選挙

☆ 4/14(金)～中原空襲展

☆ 4/20 市長はぜん息患者に会って話を聞け」市役所前集会

☆ 4/23(日)「ニューヨーク公共図書館・エクスリブリス」上映会

☆ 5/21(日)公害・環境、健康、まちづくりフェスタ

☆ 5/28(日)ゆめごこちライブ「李政美ライブ」

★ 編集後記

● 4月は不安がいっぱい～学校の新年度始まる～

4月1日から学校では、新年度の準備が始まりました。

入学する子どもたちや進級する子どもたちを迎える準備が、各学校で始まっています。しかし、2023年度に顕在化した「川崎の市立学校の正規教員の未配置 117人」という大問題。この解決はどうなっているのでしょうか。

その心配をしていた3月末、ある小学校の先生との話で、「私の学校も、新年度の先生が1名不足して決まっていないので、先行きが不安だ」と話していました。

教員不足の原因の一つは、過酷な労働条件にあることは明らかです。

先生たちを苦しめる長時間労働、低賃金、専門性無視の管理主義教育体制、ここに、本気で取り組むしか解決の道はないのに、国も自治体も、動きが見えません。

ある中学校の先生の報告です。

A 中では、3月の修了式後の昼食会で離任、転任する人の挨拶があったのですが、聞いていて衝撃の連続でした。

まず、30代、体育科のバリバリの先生の転職の発表に驚きました。

次は、転勤する進路指導主任

「疲労困憊で、家に帰っても、子どもを風呂に入れる余力も残っていない自分を『生きている意味があるのか』と責めた」

転勤する3年副主任から

「学校のソファーに倒れ込んで、『大丈夫か』という問いかけに『大丈夫じゃない』

とこたえた」という告白。

更に、退職する2人の先生から、

「自分の退職金は2300万円だが、みなさんの時代は、おそらく1700万円」

「今から、NISA を考えておかないと手遅れ」「再任用も、民間への再就職も厳しい」
などなどと話が続きました。

およそ、これまで何十年も聞いてきた離任の挨拶とは全く異質の生活の厳しさが切々と語られる雰囲気になりました。

普段は、比較的若い人が多く、明るい会話が飛び交う職場だっただけに驚きました。世界最低ランクの教育費で、定額働かせ放題を放置している自公政権。少人数学級では、国基準から前に進まない、ワースト4県に入る神奈川県。少人数学級は国の施策といいながら、少人数学級請願を否決し続けている横浜・川崎の共産党を除くオール与党議員。これらを全面的に取り替えなければ、教職員・学校の未来はない!!と強く思った昼食会でした。

■図書館の指定管理者を導入する条例に賛成の候補はゼロ

——市議予定候補者の公開質問への回答から——

川崎の文化と図書館を発展させる会では、4月9日の市議会議員選挙立候補予定者に、指定管理者制度導入に関して、公開アンケートを行ないました。

その結果をもって、3月16日、川崎市役所で記者会見を行ないました。会派によっては、党で一括回答を出され、記者からは立候補者一人ひとりから回答をもらえなかったのは、客観性に欠けると指摘されました。

各会派の質問への対応と会としての評価

自由自民党、公明党、みらい会派は、党としての一括回答。

日本共産党と無所属からは、ほとんどの方からご本人の回答

日本維新の会は、横浜の事務所へ伺いましたが、後日、党として回答しないとの返事

国民民主党は、神奈川県連に電話でお願いし、アンケートを送り新人の2名から回答
れいわ新撰組は、ホームページを通じてお願いしましたが、回答はありません。

とはいえ、現職はもとより、新人にも、図書館への指定管理者制度導入について知ってもらうことはできたと思います。

ただし、6月議会で条例改正を止めることはとても難しいですし、どんな対策ができるかも、甚だ厳しい局面です。

私たちの公開アンケートは、議員全員の考えを引き出すことはできませんでしたが、なるべく各会派や無所属議員に話をすることの大切さを実感しました。

また、この結果を教育委員会・生涯学習推進課との面談にも活かしたいですし、選挙

後のロビー活動に繋げていきたいと思います。

< 予定候補者からの回答のポイント >

1. 予定される川崎市図書館条例の改正について、現時点で指定管理に賛成を決めている会派、候補者はゼロでした。反対を決めているのは、共産、国民民主、ネットの各候補でした。
2. 今ある図書館が、区によって直営館と指定管理館に分かれることについて、良いやり方だと回答したのは無所属 2 名のみでした。
3. 条例改正案を審議する教育委員会議の公開審議については、非公開を指示する回答はゼロでした。
4. 昨年 6 月に実施した「管理運営の考え方」のパブコメの扱いについては、「問題は無い」の回答は、自民・未来・無所属 1 名でした。
「パブコメのやり方を再検討すべき」は、共産、国民民主、ネット、無所属 1 名でした。

▲ お知らせコーナー

☆神奈川県知事選挙・川崎市議、神奈川県議会議員選挙

4/9(日)午前7時から午後8時まで

☆中原空襲展

4/14(金)～19(水)

中原市民館・1階ギャラリー

主催：川崎中原の空襲・戦災を記録する会

連絡先：080-1324-0141/ma24zart999@yahoo.co.jp

☆「市長はぜん息患者に会って話を聞け」市役所前集会

ぜん息患者医療費助成制度廃止に反対する 4.20 市役所前行動

4月20日(木) 11時半から13時

場所 川崎市役所前

よびかけ 川崎公害病患者と家族の会、川崎公害根絶・市民連絡会、他

☆「ニューヨーク公共図書館・エクスリブリス」上映会

4/23(日)① 9時 ② 13時 30分

かわさきゆめホール

一般：1000円、障がい者：500円、学生以下：200円

主催：ゆめホールシネマ倶楽部

「ニューヨーク公共図書館・エクスリブリス」上映実行委員会

お問合せ 044-433-3003

cinema@kawasakiyume.com

☆公害・環境、健康、まちづくりフェスタ

5/21(日)11時～15時

武蔵溝の口駅ペディスタルデッキ

主催：「公害・環境、健康、まちづくり」フェス実行委員会

連絡先 川崎公害病患者と家族の会内 044-211-0391

☆ゆめごこちライブ「李政美ライブ」

5/28(日)14時

かわさきゆめホール

一般：2500円、障がい者・学生以下：1000円

主催：ゆめホールライブ実行委員会

お問合せ 044-433-3003

hall@kawasakiyume.com

★ 編集後記

非戦、脱原発を訴え続けた坂本龍一さんが亡くなりました。

折しも大江健三郎さんが亡くなったばかり。

世界のサカモトと言われるほどにその音楽を評価され、人気をほしいままにしても、私利私欲など微塵も見せず純粋に生き抜いた芸術家でした。

日本人の良心を代表する存在であったように思います。

日本のマスメディアは、有名人が「政治的」発言をすることを極端に嫌います。

「脱原発」発言は特に嫌われます。それは、原発推進勢力が、マスメディアの裏側で大きな力を持っているからでしょう。

1988年、忌野清志郎のアルバム「カバーズ」の発売が中止になりました。

ジョン・レノンやボブ・ディランなどの名曲に独自の歌詞をつけて歌ったものですが、中でも「ラブミーテンダー」「サマータイムブルース」につけられた歌詞は、強烈な原発批判でした。

発売を中止にしたレコード会社は東芝EMI。巨大原発メーカーの子会社です。

311 フクシマ事故以来、清志郎の盟友でもあった坂本さんは、脱原発集会の呼びかけ人にもなり、精力的に脱原発を訴えてきましたが、メディアは殆どそのことに触れようとしません。

原発再稼働にご執心の政府、財界はメディアに圧力をかけ続けているのでしょう。

これじゃ浮かばれない。合掌・・・(Y)